

団体名：国立大学法人筑波大学 アスレチックデパートメント



1. これまでのSDGsに関する取組でPRしたいこと



“学校スポーツ”を通して地域を活性化し、豊かな社会の実現を目指しています。

- 「つくばこどもの青い羽根学習会」(子どもの学習支援・生活支援事業)に参加する子どもたちを対象に、トップレベルの学生アスリートによる特別なスポーツ教室を開催。
- 大学が持つスポーツの資産を活かし、次世代を担う小・中学生向けの社会体育の普及と実践の促進を目的に、「自宅学習向け体育ムービー」を配信。
- 関彰商事(株)と“スポーツと健康に特化したパートナーシップ”を締結。法人向けのサービス開発やスポーツプロジェクトの立ち上げなどを行うことを予定している。



2. コロナ禍での対応



- 医師等の専門家と共に「段階的部活動再開のためのガイドライン」を整備。活動に参加するための条件や活動中のルール、感染が疑われる学生アスリートへの対応までを示している。
- コロナ禍で運動習慣が極端に減少している学生に向けた「オンラインのトレーニングプログラム」をYouTubeにて配信。
- コロナ禍における学生支援のための寄附イベントとして「学生参加型のeSportsチャリティー大会」をオンラインで開催。参加する学生の心拍やアンケートなどから、eSportsの教育面的価値についての研究も行った。



3. 現在の課題等

- ・ コロナ禍で“学校スポーツ”が実施できない状況下における、児童・生徒・学生に対する支援。
- ・ コロナ禍における学生アスリートへの支援（キャリア支援、心理的支援など）のあり方。
- ・ コロナ禍で、現地での試合観戦ができない人々のための解決策（オンライン試合配信など）。

4. 他会員との連携希望

“学校スポーツ”をツールとした地方創生に興味がある方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

SDGsパートナーズ会員の皆様とのコラボレーションによって、新たなイノベーションを起こし、素晴らしい未来を共創できることを楽しみにしています。

問合せ先

筑波大学アスレチックデパートメント 担当：山田

〒305-8574 つくば市天王台1-1-1 GSI棟 029-853-5779

adoffice@athletics.tsukuba.ac.jp

